

◇オーディオ（ステレオ）装置改造記

大槻伸次

約2年前ステレオ装置を制作し愛用してきたが、寄る年波なのだろうかCDプレーヤー（ほぼ25年前の製品）が不調（気温が下がってから顕著）となってしまった。というのは、市販品のCDであれば一発で再生するが、自家焼きのCDでは光ピックアップのサーボがなかなかかからず、再生可能となる迄数十回のトレーの出し入れが必要となってしまった。ところが、市販品のCDを再生してからであれば（光ピックアップがエージングされる）、自家焼きのCDでも一発で何の問題もなく全曲再生可能となる。これではなんとも面倒くさいので、中古品を探して交換することにした。

そこであっちこっちの中古品店探した挙句、市内のブック・オフにて中古品DENON製（DCD-1510）のCDプレーヤーが3,980円で見つかったので買ってしまった。他に同年代に製造されたと思われるソニー製のCDプレーヤー（3,980円）もあって同じ値段だったのでどちらにしようか迷ったが、機能とずしりと重い方が良さそうなのでDENON製を選んだ。

部品が揃ったのでいよいよ入れ替え工事であるが、どうせやるなら前回制作時に実施できなかった追加工事もあるのでこれを機会に全面的に改造することにした。

●第一は前回装置制作時に発見された拡張型のサラウンド用ステレオアンプ（NEC製デジタルディレイ・サラウンドプロセッサAV-251）を追加してみることにした。

●第二はAM・FMチューナーにFMアンテナを取り付けてFMステレオを聞けるようにすること。

●第三にDVDプレーヤーを追加してテレビの音楽番組を録画（録音）したものを再生できるようにする（モニターは付けないので映像は使用しない）。

●第四にパソコン、タブレット、ipod等の携帯音楽プレーヤーを接続し、You Tube等の音楽をCD化せず再生できるようにする。

●第五にレコードプレーヤーを架台の外に出して操作しやすいところに置く事だった。

他に、現在メインアンプ（YAMAHA製）の出力が2チャンネルあるが、チャンネルAにはソニー製のスピーカー（SS-V950AV）左右で2台（ステレオ）、チャンネルBにはテクニクス製の小型スピーカー左右で2台が接続（手持ちを利用した）されていたが、今回の改造を機にBチャンネルもソニー製（SS-V725AV）のスピーカーに付け替えることにした。

スピーカーの取得はたまたま伊勢崎のホームセンターに用事があって出かけた折、相向かいにあるハード・オフに立ち寄ったところ、ソニー製の訳あり（ボディ後部に傷があるが使用に全く差し支えない）スピーカーがペアでなんと600円で売っていたので買ってしまった。そこで、チャンネルBで使われていたスピーカーをサラウンドプロセッサに接続することにした。スーパーウーファーは以前から使っているAIWA製と、手持ちのSONY製（以前たった300円なので買っておいた）をパラにして2台使用することにした。2台使用はあまり意味もないが、遊ばせておくのはもったいないので使用しただけである。そうと決まったらできるだけ早く改造に着手し

たかったが、年末年始は雑用に振り回されてしまってなかなか改造に着手できなかった。改造に着手してしまえば2日程度で終わる作業であるがなかなか踏ん切りがつかなかったが、七草が終わって一段落したので改造に着手した。

CDプレーヤーなどの機器同士の配線は一旦チャラにして、積載機器の配置換えをしようとしたが、オーディオ装置架台の仕切りは固定で動かさないで全ての機器が収まるようにしか配置できなかった。

そこで架台の上はFMアンテナ(ブースター付き)、レコードプレーヤー(DENON製・DP-36F)、タブレットなどの携帯音楽プレーヤー等。架台内の最上段には以前と同じOTTO三洋製AM・FMチューナー、中段上は新規に購入したDENON製CDプレーヤー(DCD-1510)、その上にNEC製サラウンドプロセッサ(AV-251)を乗せた。中段下はYAMAHA製アンプ(A-S301)、最下段はMARANTZ製Wカセットデッキ(SD-255)、その上にDVDプレーヤーを乗せる形で配置した。DVDプレーヤーは単体のものでなく、DVDプレーヤーとビデオカセットデッキが一体となった自家にあるものを再利用しようと思ったが、厚みがあって仕切り内に収まらないので、新たに中古品店で仕切り内に収まる薄型のDVDプレーヤー(三菱電機製DJ-P260・300円・CDもOKなのでCDプレーヤーの補完にもなる)を探して購入した。

組み立てと配線、調整は1日半くらいで終わったが、音出しと各機器の動作状況等の確認をして2日目の夕方には完了した。そこで、聞きなれているベートーヴェンの運命と田園(CD・カラヤン指揮ベルリンフィル・グラモフォン・音源はDDD)、他にYouTubeから作成したCD(ピアノ曲)を試聴してみたところ、改造前の装置より迫力は増し音質が若干改善していると感じられた。おそらくCDプレーヤーとスピーカーの交換、サラウンドプロセッサの追加が関係あるのだろう。装置の評価としては中古品の寄せ集めで制作したもので、我慢どころの音質かなと思っている。

今回、ステレオ装置を改造してみたが、一番の改善点は何とんでもレコードプレーヤーを架台の上に出したことによりすごく使いやすくなったことだろう。

しかし、レコードプレーヤーはもともと安物なので防振装置が付いていないので低音部を強調すると共振してしまうのが難点だった。そこで振動を吸収する下敷きのようなものを見つけてみたい(スポンジ等)。

また、NECのサラウンドプロセッサの追加による大きな変化はあまり感じられなかったが、若干残響が感じられる(あまり強調するとスピーカーのコーン紙が敗れたような音になると妻に云われた)。他にタブレットやipod等の携帯音楽プレーヤーを接続できるようにした為、YouTube等からダウンロードした音楽をいちいちCDにしなくても簡単に聞けるようになったのはすごく便利になった(音質は劣るが)。そこで、将来的には以前に制作したLinux(ubuntu)パソコンと装置との接続にbluetooth装置を付加してノンワイヤーで接続したいと思っている。(パソコンからYouTubeなどの音楽を直接聞けるようにする)

今回の改造費用としてはCDプレーヤーの3,980円、スピーカー2個追加で600円、スピーカーコード5メートルで580円、中古FMアンテナ580円なので合計5,000

円プラスαで済んだ。ただし今回購入した CD プレーヤーについては相当前の製品なので何時までもつのか不安はあるが、そのときはその時で考えればいだろう。

昭和 30 年代は、出来合いのアンプはすごく高価だったので、自作するのが当たり前だった。そこで、パワートランス、出力トランス、真空管、抵抗、コンデンサー等多種の部品を調達せねばならずリュックを背負って秋葉原詣でをした。秋葉原オタクのはしりだろう。こんな秋葉原の風景は今も健在で、今年（令和 2 年）1 月 24 日 NHK 地上波の、ドキュメント 72 時間「秋葉原電子部品に魅せられて」を放送していたが懐かしく見させてもらった。

結婚してから一度女房を連れて行ったら何とも不思議なところだと云われた。

その後、オーディオからアマチュア無線に転向したが、装置は全て自作だった。パーツが揃ったところで、手回しドリルでケースを加工し、半田鋺を使用して長い期間かけて組み立てたのである。ところが、現在はヤフーオークション、ハード・オフやブック・オフが身近なところがあり、格安で簡単に出来合いの中古品が買えるようになったのは隔世の感がある（作る楽しみは半減）。

現在は音楽を聴こうと思えば YouTube やネットで音楽が買える時代であり、また性能の良い携帯音楽プレーヤーやヘッドホンも溢れている。しかし、我々は大出力のステレオ装置で、大音量で聞く音楽は格別であることを知っているのでやめられない。ただし、近所迷惑にならない程度にはある。

▼写真上・前回製作したステレオ装置。

▼写真中・上記の装置を写真のように改造した。架台内（オーディオボード）上端から FM・AM チューナー、デジタルディレイサラウンドプロセッサ、今回交換した CD プレーヤー、YAMAHA の 2 チャンネル出力メインアンプ、DVD プレーヤー、W カセット・デッキとなっている。周囲のスペースに余裕が無いのでスピーカー類は縦に積み上げた。アイワとソニー製のスーパーウーファーは指向性無しの為、右上の棚の上に設置した。

▼写真下・架台の上にはレコードプレーヤー、ブースター付き FM アンテナ、タブレット（携帯音楽プレーヤーなど）など配置した。〔2020/1/17 記〕

